

令和3年度 星川小学校 キャリア教育 実施報告

『自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～』

1 キャリア教育の概要

- 横浜市立星川小学校の6年生は自分の将来について考える授業を行っており、「横浜市役所の仕事～横浜市の交通を考える仕事～」をテーマに出前授業を実施しました。
- 今回の出前講座のねらいは、自らの将来を考えるために、仕事の一つとして、都市整備局の仕事やまちづくりやバス等の公共交通に関する仕事内容を例にして説明し、市役所の仕事や身近な交通に興味・関心を持ってもらうことにあります。

■キャリア教育について

- 【日時】 令和3年12月6日(月)
3～4校時 10:40～12:15
- 【対象】 星川小学校 6年生(55人)
- 【目的】
- ・自分の適性や将来の職業に結び付けるため、講話を通じて自分を見つめ、自分に合う職業について考えるきっかけを作る。
 - ・いろいろな職業を知る機会とする。
- 【内容】 説明用パワーポイントを用いた講話
- ▼主なテーマ
- ・市役所の仕事、都市交通課の仕事
 - ・モビリティマネジメントについて
 - ・具体的な業務の流れや心がけ
- …など

2 「横浜市交通分野で働く人のお仕事」の講話

- 授業では、職員が学生時代に勉強していたことや、なぜ市役所で働こうと思ったのかなどについて触れ、児童の将来を考えるきっかけとなってもらよう進めました。
- また、パワーポイントの資料を通して市役所の役割や都市整備局の取組み、まちづくりの裏側などを学んでもらいました。そして、モビリティマネジメントの取組を例にして、公務員の仕事を簡潔に説明し、横浜市役所の職員としての仕事のやりがいなどについても話をしました。

■講話に用いた説明用パワーポイント



3 キャリア教育を終えて

- 今回の出前講座で交通に関する仕事に触れ、交通のまちづくりに興味・関心を持ち、公共交通を維持することの必要性について考えるきっかけとなることを期待します。
- 授業を聞いて、自分自身の将来の夢や未来について考えるきっかけとなった児童もたくさんいました。
- 駅や道路をはじめ、自分たちが住んでいるまちが作られていく様子などを初めて知る児童も多く、学びが多かったです。また、公共交通を取り巻く環境や交通事業者の現状を知り、バスへ乗ってみようと思う児童や家に帰ってから家族にモビリティマネジメントの話をした児童もいたようで、関心を持って取り組んでくれました。

■授業の様子

